

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 5 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	石川県産業の強みを活かしたエネルギー構造高度化に向けた技術開発推進事業	
補助事業者名	石川県	
補助事業の概要	本県産業の強みである炭素繊維複合材料分野やエネルギー分野の基礎技術を活かし、県内企業の市場参入に繋げ地域経済の活性化促進やカーボンニュートラル社会を実現するために、工業試験場が主体となって創エネ・蓄エネにかかる熱電発電・水素吸蔵合金・水素タンクの実用化に向けた技術開発を行った。	
総事業費	98,263,326 円	
補助金充当額	98,263,326 円	
定量的目標	- 熱電発電と水素吸蔵合金の高度化に係る技術開発 - 大規模な実験データベースが取得可能な材料調整自動化システムの設計、試作 - 材料調整自動化システムを用いた多元系熱電材料の創製 - 多元系熱電材料の物性データ取得 - 材料調整自動化システムを用いた水素吸蔵合金の創製 - 液化水素タンク実用化に向けた技術開発 - 極低温下での素材の物性評価 - 液化水素タンクの試作 - 液化水素タンクの貯蔵性評価 - 液化水素タンク構造の課題抽出と改善案の策定 - 基礎調査 - 市場調査および技術動向調査	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	石川県工業試験場が主体的に研究開発を実施したことにより、と熱電発電、水素吸蔵合金、液体水素タンクの両分野についての知見、ノウハウが県内に蓄積し、将来的に実用化研究を進めていく上での研究基盤を構築することができた。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	CFRP 製液化水素タンクモデル作製業務委託
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方（間接補助先）	谷口製紐(株)
	契約金額（間接補助金額）	990,000 円

	契約（間接補助）の目的	樹脂塗仕上げ CFRP 製液化水素タンクモデル作製業務
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方（間接補助先）	谷口製紐(株)
	契約金額（間接補助金額）	440,000 円
	契約（間接補助）の目的	液化水素タンク縮小モデル用 CFRP 円筒作製業務委託
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方（間接補助先）	丸八(株)
	契約金額（間接補助金額）	1,823,800 円
	契約（間接補助）の目的	研究補助員の派遣
	契約の方法	指名競争入札
	契約の相手方（間接補助先）	松村ビジネスサービス(株)
	契約金額（間接補助金額）	1,224,109 円
	契約（間接補助）の目的	市場技術動向調査
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方（間接補助先）	デロイトトーマツコンサルティング（合）
	契約金額（間接補助金額）	11,990,000 円
来年度以降の事業見通し	令和 5 年度の事業（熱電発電・水素吸蔵合金）を継続するとともに、更に「エネルギー・脱炭素」に係る本県の強みを活かした技術開発（太陽電池・再エネ水素システム）を実施する見通し。	

（備考）

- 1 事業完了した日から 3 ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領 8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。